

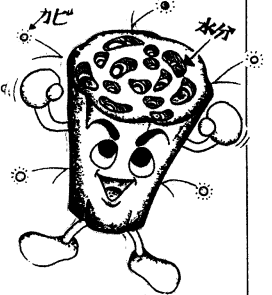


## …健康住宅は、床下から…

昔の木造住宅は、束立床（柱口）で床下が高く、風通しがよく、子供の頃は床下でよく遊んだものです。ところが、建築基準法で布基礎になってから、床下は湿気の溜まり場となりいつの間にか大切な住宅が蝕まれてしまうということがおきるようになりました。この床下の環境を改善するのに今、木炭の利用が注目されています。

### —木炭敷設の効果—

- 1, 床下の相対湿度が下がり、土台・大引・根太・床板等の含水率（木材が含んでいる水分の量を表す数値）も低下します。
- 2, かび、害虫の発生が減少が期待され、床下独特の臭いが減少します。
- 3, 土台・大引・根太・床板等の腐朽がおこりにくくなります。
- 4, 一度敷設すれば、恒久的に使用でき、経済的です。



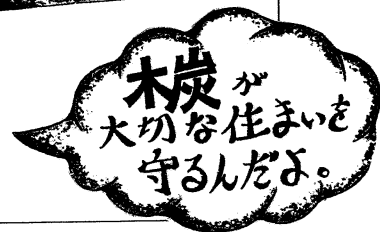
### —どんな木炭をどれくらい使えば良いのでしょうか—

- 1, 400℃以上で炭化したものであれば良です。価格的には、木質系廃棄物利用のものが安価です。
- 2, 一坪当たり50kg（±5kg）を目安に敷設します。市販の木質系廃棄物利用のものが10,000円／坪くらいとなります。

### ※ 商品情報

8月以来続いております小割製品の高騰にひっぱられ、構造材も高騰してきました。丸太がそれ以上に高騰しており、今年度中は品不足で高値が続くと思われます。

余裕をもって注文をお願いします。



（お問い合わせは、お客様サービス係の森園まで）